



《My Grandmothers : MINEKO》2002年
高松市美術館蔵



《UntitledII》2004年
作家蔵



ライブパフォーマンス「MM」2019年
撮影：表恒匡



《女神と男神が桃の木の下で別れる：川中島II》2016年 作家蔵

展示をさらに楽しむイベント

●ライブパフォーマンス『MM』

やなぎみわの構成・演出で、高山のえみが出演。音楽は内橋和久が担当します。初日の終演後にはアフタートークを行います。

日時 5月17日(金)・18日(土)・19日(日) 14時～15時30分
対象 小学生以上、先着各70人
費用 各1,500円

申し込み 同館でチケット販売中

●やなぎみわ講演会

日時 5月19日(日) 14時～15時30分
対象 一般、先着40人
申し込み 同館へ

●ロボット教室

日時 5月11日(土) 14時～16時30分
対象 小学生以下(未就学児は保護者同伴)、先着30人
申し込み 同館へ

●学芸員によるギャラリートัวร์

日時 5月12日(日)・6月1日(土) 14時～15時
費用 観覧券

申し込み 当日同館へ直接



くみ尽くせぬ創造の泉に迫る やなぎみわ展 神話機械

岡 アーツ前橋 ☎027-230-1144

やなぎみわ

1967年神戸市生まれ。1990年代半ばから、若い女性をモチーフにCGや特殊メイクを駆使した写真作品を発表。制服を身に付けた案内嬢たちが商業施設空間に佇む《エレベーター・ガール》や、半世紀後の自分を写真で表現した《マイ・グランドマザーズ》などの作品により、国内外で多数の個展も行われている。



提供：熊野新聞

企画展「やなぎみわ展 神話機械」を開催します。1990年代から現在に至るまで、現代美術や演劇界で作品を発表してきた、美術家やなぎみわ。10年ぶり、前橋では初の開催となるこの個展では、やなぎの創造の泉に迫ります。写真作品で世界的に評価を受けているやなぎは、2009年に第53回ベネチア・ビエンナーレ日本館代表に。翌年に本格的に演劇プロジェクトを始めます。これと並行し、日本神話をモチーフに桃を撮影した新作シリーズを制作。今回、日本で初めて発表します。また、本展に向け、群馬高専をはじめ各地の学校などと連携した「モバイル・シアター・プロジェクト」が立ち上がり、マシンによる神話世界も会場に生み出されます。

日時 4月19日(金)～6月23日(日)
(水曜を除く)、10時～18時(入館は17時30分まで)
費用 一般600円、学生・65歳以上・団体・MMセット割(パフォーマンスチケットと同時購入)400円(高校生以下、5月12日(日)は無料)

同時開催

身体と記憶 アーツ前橋所蔵作品から

アーツ前橋では、地域ゆかりの作家をはじめ、これまでの同館の活動に関連のある作家たちの作品を継続的に収蔵しています。昨年度は、9作家32作品を新たに収蔵しました。

本展では、「身体と記憶」という切り口からこれまでの収蔵作品を紹介します。主な参加作家は石内都、小野田賢三、片山真理、平野薫など。石内都の《ひろしま》シリーズは、広島平和記念資料館に現在まで届けられる被爆者の遺品をモチーフにしています。被爆した人が身に付けていたであろうワンピースや靴を通じて、戦争を生き抜いた女性たちの生を表現します。小野田賢三は前橋ゆかりの音楽家・井上武士の代表作『うみ』を題材に、新しい鑑賞体験を提案します。

美術作品は、さまざまな人間の生の軌跡の交差点のようなもの。ぜひそれぞれの作品を身体をと



石内都
《ひろしま#43 Donor: Yamane, S.》
2007年 アーツ前橋蔵

して味わい、楽しんでください。

日時=4月19日(金)～7月9日(火)(水曜を除く)、10時～18時(入館は17時30分まで)

●学芸員によるギャラリートัวร์

日時=6月15日(土)14時～14時30分

申し込み=当日同館へ直接

アーツ前橋サポーターを募集中

アーツ前橋の運営をサポートするボランティアスタッフを募集しています。主な活動は、イベント関係の手伝いや資料の整備、広報物の発送作業などです。

対象=高校生以上(18歳未満は保護者の了承が必要)

申し込み=同館へ